



沼川新放水路の本体函渠を設置する下流工区では地面から10m以上掘ったところが函渠の底となります。掘り進むうちに土の壁が崩れないよう鋼矢板で土を止めます。この付近の地盤は硬く、鋼矢板を入れる際には硬い地盤を先行して土をほぐした後、別の機械によって鋼矢板を入れる必要があります。しかし、その方法で施工すると工事にかかる費用と期間が多大になってしまうため、硬い地盤に対応した鋼矢板の打込み工法を採用しました。

鋼矢板を入れる際にオーガと呼ばれる機械の先端についた歯で土をほぐしながら鋼矢板を入れていきます。この工法では岩盤を掘る作業と鋼矢板を入れる作業を同時に行うことができるため、効率の良い施工ができます。この工法はN値50以上と呼ばれる固い地盤に対しても矢板を打込むが可能な工法です。



沼川分合流部

チーム沼川 『今年はこのメンバーで頑張ります!』

今年4月に沼津土木事務所沼川新放水路整備課の課長に異動してきました岡村です。私も含め、今年は5名のガッツあるメンバーで、1日でも早く沼川新放水路が供用開始されるよう頑張っています。

当課では、浸水被害が頻発している沼津市西部の抜本的な治水対策として、平成29年度より新放水路整備の本格的な工事に着手しています。毎年のように発生する災害を未然に防ぐため、国においても特別な予算措置がされており、今年度からは、新放水路整備が、県内では唯一の大規模特定河川事業に採択されました。このため、昨年度に比べ大幅に事業費の確保ができ、今まで以上の事業促進が期待できます。

今後も、沼川流域の治水安全度向上に向けて全力で取り組んでまいります。事業には長い期間を要することから、地域の皆様のご理解とご協力が不可欠でございます。

これまで同様のご支援をお願いいたしまして、ごあいさつに代えさせていただきます。



左から
山本主任
岡村課長
保竹主査
大岡班長
薩川主任

なますくん通信とは

この広報誌「なますくん通信」では、沼川新放水路整備事業を中心に、沼川流域における治水対策事業について分かりやすく説明していくとともに、これからの川づくりの最新情報をお知らせしていきます。

目次

- 令和元年度の新放水路予算について
- 新放水上流工区で仮設道路工事を行いました!
- NEWS①：JR工事ヤード工事用道路工
- NEWS②：県道東柏原沼津線迂回路工
- TOPICS：硬い地盤への鋼矢板打込みについて
- チーム沼川「今年はこのメンバーで頑張ります」



表紙イメージ「沼川分合流部」について

新放水路と沼川との交差部は「固定堤」と「カーテンウォール」という分合流施設を設置します。沼川からの洪水と新放水上流の洪水を合わせた全量を沼川新放水路へ流下させます。



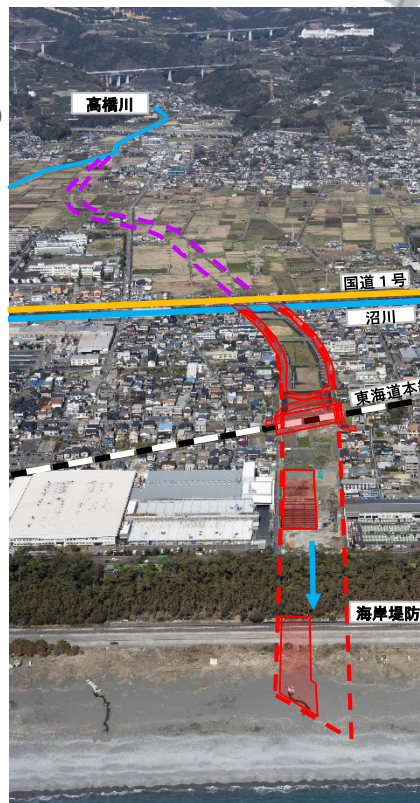
沼津土木事務所沼川新放水路整備課
Tel：055-920-2129



令和元年度の新放水路予算について

今年度は、これまでの交付金事業に加えて補助事業が新規に認められ、沼川新放水路整備事業の予算が昨年度に比べて大幅に確保された。（昨年度の予算約12億円と比べ、今年度の予算は倍の約24億円）この予算で下記の工事や関連する委託業務を行っていきます。

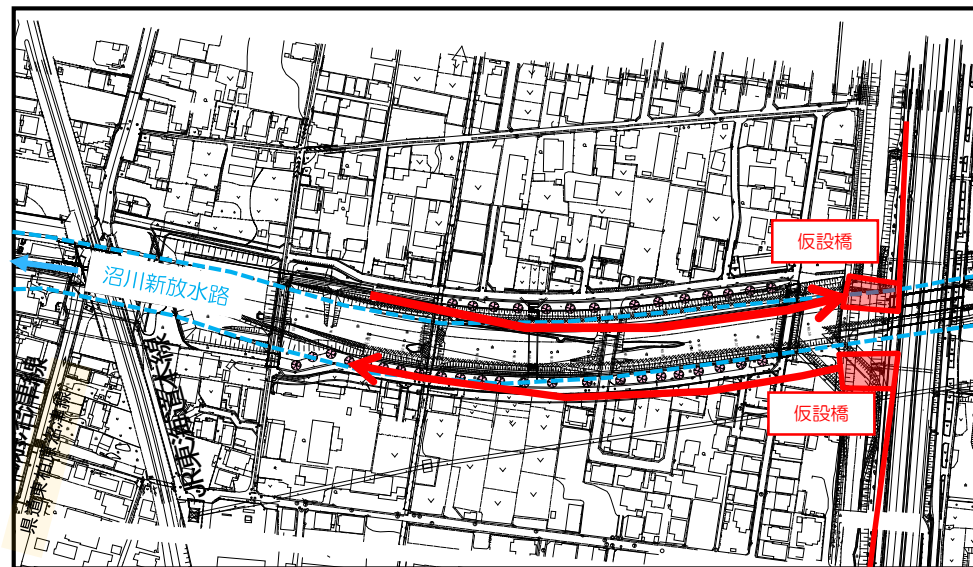
- 凸版印刷跡地で新放水路の本体BOX工事（土留工・地盤改良工・函体工）
- JR東海道線直下部での工事のため、準備工事として県道迂回路工、工事用道路工に着手
- JR（東海旅客鉄道株式会社）の工事で電気設備移設工に着手
- 国土交通省中部地方整備局の受託工事で海岸部の函体工事に着手
- 海岸部の工事で仮排水管移設工に着手
- 上流工区での盛土工事



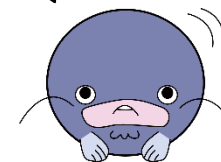
NEWS①：JR工事ヤード工事用道路工

JR委託工事の施工ヤードへ資機材を運搬する車両のための工事用道路を新放水路の暫定調整池右岸側・左岸側へ設置します。また、国道1号から工事用道路へ進入する仮橋の設置も行います。

工事用道路は国道1号から暫定調整池左岸側の一方通行工事用道路を進入し、JR工事ヤードでの作業を終えたら暫定調整池右岸側の一方通行工事用道路を通行し国道1号に合流します。工事関係車両と、一般車両や歩行者の通行を分けることによって安全確保に取り組みます。



工事用道路は令和元年の秋頃より開始を予定しています。



新放水上流工区に仮設道路を作り始めました！

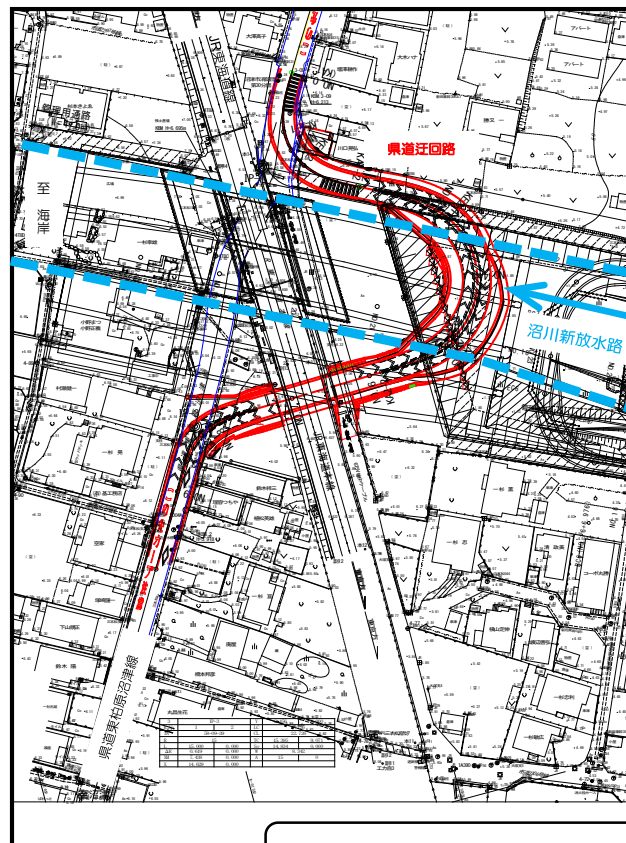
国道1号から上流部の新放水路用地において、仮設の工事用道路を作り始めました。

新放水路用地付近の狭い農道に大型ダンプを通行させないために、新放水路の工事では工事用車両は新放水路予定地内に設置した仮設道路を通行させることとしました。これによって付近を通行する皆さまや農道を利用する方々の安全確保に努めます。

仮設道路は用地買収できた箇所（民地との境）に作っている仮囲い盛土と合わせて北側に向けて順次進めています。今後はこの道を使って盛土工事を行っていきます。



NEWS②：県道東柏原沼津線迂回路工



JR東海道本線と県道東柏原沼津線の交差部が沼川新放水路ルートとなっており、JR踏切直下部の工事を行うため、工事中は県道を北側へ迂回させるルートに変更します。迂回路はJR東海道本線の踏切が移設した後の令和2年度に供用開始する予定であり、JRの直下部工事が完了するまでの約8年間使用します。今回の工事は既存の県道と河川用地の境から脇に入った部分について作業を行います。

また、国道1号からJR東海道線直下部の工事区域へ行くための工事用道路工と沼川を渡る仮橋設置も同時進行にて進めていきます。工事に伴い、既存の県道東柏原沼津線を工事車両が通行することとなりますが、安全に配慮し進めていきますのでご協力をお願いします。

県道迂回路工は令和元年の秋頃より開始を予定しています。

